

6/5  
(金)

## 長島中で環境教育授業 環境保全への理解深める

長島中学校(石垣健二校長・89人)では、6月の環境月間に合わせて6月5日、県の職員を招き、大気汚染や生活排水について学ぶ出前授業がありました。

今回は2年生25人を対象に、大気や水質を測定する実験などに取り組んだほか、大気測定車の見学などが行われました。大気測定の実験では、試薬が車の排ガスと反応して窒素酸化物が含まれることを示すピンク色に変化すると、生徒たちは興味深げな様子で観察していました。

淵田望加さんは「たくさんの工夫があって、きれいな自然が保たれていることを実感した」と笑顔を見せました。



車の廃棄物に含まれる窒素酸化物を調べる生徒

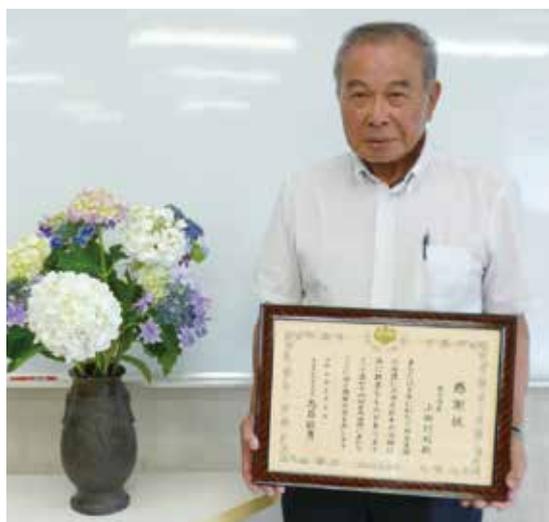
6/9  
(火)

## 野生生物保護功労者感謝状 長年の功績をたたえる

県の鳥獣保護管理員を務める上田利則さん(浦底)が令和2年度野生生物保護功労者として、環境省から感謝状を受賞しました。

これは野生生物保護に関し顕著な功績のあったものに贈られるものです。上田さんは、長年にわたり町内の鳥獣保護区の管理や狩猟者の指導などに取り組み、本町の鳥獣保護活動推進に貢献してきました。

6月9日の第60回県猟友会出水支部通常総会で、県北薩地域振興局から感謝状の伝達を受け、上田さんは「これからも変わらず努めていきたい」と決意を述べました。



環境省からの感謝状を手にする上田さん

6/10  
(水)

## 商工会の日ボランティア 清掃で交通安全を願う

長島町商工会は6月10日の商工会の日にあわせて、町内のロードミラー清掃を行い、汗を流しました。

長島町建友会の会員も加わり、参加者34人は軽トラックなどで各地区を巡回。約100基のミラーが一つひとつ丁寧に磨かれ、ぴかぴかになった鏡面が初夏の日差しに輝きました。

町商工会の木場盛二会長は「少しでも交通事故防止に役立ち、町民や観光客などが安心安全で過ごしてもらえるように」と笑顔を見せました。



ロードミラー清掃に汗を流す会員